

墨子

と申に、大王の給、この輿のそばにある顔にあざのある男つげ申たるによりて來れるなり、か  
せぎみるに、顔にあざありて御輿の傍にゐたり、略下

〔異疾草紙〕ある女、かほにあざといふものありて、あさゆふこれをなげきけり、あざはうちまかせ  
て、人の身にあるものなれども、閑所はくるしみなし、かほなどにつきぬれば、人にまじはり、はれ  
などふるまふことはかなふべくもなければ、まことにかたはなり、

〔倭名類聚抄〕三黒子 漢書云、黒子、和名波。今中國呼、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

〔箋注倭名類聚抄〕昌平本有和名二字、醫心方同訓、按新撰字鏡、音反。波々久呂、今俗又譌呼保久呂、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

聲二十二覃字、其韻皆異、類聚名義抄作於覃反、爲是、音反。波々久呂、今俗又譌呼保久呂、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

音同、山田本作烏添反、亦恐忝字之譌、添平聲二十五添字、其韻又不同、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

文原書呼上有通字、音反。波々久呂、今俗又譌呼保久呂、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

〔增補下學集〕支體二、ハ、ツ黒子、ア、シ上、同

〔倭訓栞〕中編二十は、くそ、新撰字鏡に、音反。波々久呂、今俗又譌呼保久呂、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

〔醫心方〕四治、音反。波々久呂、今俗又譌呼保久呂、略。中那波本作於覃反、按廣韻、音反。吳楚俗謂之、誌者訛也、

病源論云、黒志者、風邪搏血氣變化所生也、夫人血氣充盛、則皮膚潤悅、不生疵瑕、若虛損則點志變生、  
若生而有之者、非藥可治也、面及身體生黒點、謂之黒志、亦名黒子、

〔瘍科秘録〕十黒子